



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 兼房株式会社

上場取引所 東名

コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡邊 将人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 鈴木 仁

TEL 0587-95-2821

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,584	△5.4	731	△35.8	619	△48.5	416	△51.0
2019年3月期第2四半期	10,126	8.0	1,138	37.0	1,201	40.7	849	40.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 214百万円 (△59.4%) 2019年3月期第2四半期 528百万円 (5.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	29.96	—
2019年3月期第2四半期	61.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	28,457		23,434		82.3	
2019年3月期	28,571		23,542		82.4	

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 23,434百万円 2019年3月期 23,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	22.00	29.50
2020年3月期	—	7.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.50	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,160	△5.2	1,590	△17.7	1,390	△28.3	930	△32.7	66.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1 社 (社名) カネフサベトナムCO., LTD. 、 除外 — 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	14,310,000 株	2019年3月期	14,310,000 株
② 期末自己株式数	409,692 株	2019年3月期	409,692 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	13,900,308 株	2019年3月期2Q	13,900,309 株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内内容の入手方法について)

当社は、2019年12月4日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。
 当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
(1) 販売の状況 (製品別売上高、国内・海外別売上高)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では設備投資や住宅投資は軟調に推移したものの、堅調な個人消費が成長を下支えしています。欧州でも雇用・所得情勢の改善が個人消費を支えています。英国EU離脱問題が懸念材料となり先行きの不透明感を深めています。中国では米中貿易摩擦に起因する景気減速が続き、その影響を受けたその他新興国でも総じて通貨は下落傾向にあり、成長率が鈍化しています。一方、わが国経済は、消費増税前の駆け込み需要で個人消費に一時的な増加が見られましたが、輸出や設備投資ともに力強さを欠いています。

このような状況の下、当社グループは、海外生産の増強、グローバル市場での販売拡大、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開しました。国内における売上は、非住宅関連刃物が前年同期とほぼ横這いでしたが、住宅関連刃物は若干増加しました。一方、海外での売上は、欧州・米国・中国各市場向けが減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は95億8千4百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

利益面につきましては、採算性の良い製品売上の減少が影響し、営業利益は7億3千1百万円（前年同期比35.8%減）となりました。経常利益は、為替差損1億2千5百万円を計上したことなどから6億1千9百万円（前年同期比48.5%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億1千6百万円（前年同期比51.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向け、海外向けとも木工関連刃物などが減少したことから、売上高は80億5千8百万円（前年同期比2.0%減）となり、営業利益は5億3千2百万円（前年同期比20.2%減）となりました。

② インドネシア

自動車関連刃物が増加したものの木工関連刃物などが減少したことから、売上高は14億1百万円（前年同期比3.7%減）となり、営業利益は1億1千2百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

③ 米国

自動車関連刃物および鋼管関連刃物などが減少したことから、売上高は7億円（前年同期比14.5%減）となり、営業利益は3千9百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

④ 欧州

自動車関連刃物および製紙関連刃物などが減少したことから、売上高は9億7千5百万円（前年同期比19.4%減）となり、営業利益は4千3百万円（前年同期比65.4%減）となりました。

⑤ 中国

自動車関連刃物および木工関連刃物などが減少したことから、売上高は9億5千万円（前年同期比18.0%減）となり、営業利益は4千4百万円（前年同期比47.0%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて1億1千4百万円減少して284億5千7百万円となりました。流動資産は現金及び預金などが減少し、前期末比9億9百万円減少の138億5千万円となりました。固定資産は有形固定資産などが増加し、前期末比7億9千4百万円増加の146億6百万円となりました。

(負債)

負債は、未払法人税等が減少したことなどにより、前期末比5百万円減少の50億2千2百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が前期末比9千3百万円増加し、その他の包括利益累計額が前期末比2億1百万円減少したことにより、前期末比1億8百万円減少の234億3千4百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の82.4%から82.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5億7千4百万円減少し、当第2四半期末には38億1千4百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12億7千7百万円(前年同期比13.5%減)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益6億1百万円、減価償却費7億9千7百万円であります。支出の主な内訳は、たな卸資産の増加3億3千2百万円、法人税等の支払額4億9千万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は14億4千5百万円(前年同期比31.5%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出で14億2千2百万円の支出があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億2千7百万円(前年同期比56.6%増)となりました。これは、配当金の支払額が3億5百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

連結売上高191億6千万円、営業利益15億9千万円、経常利益13億9千万円、親会社株主に帰属する当期純利益9億3千万円を見込んでおります。

なお、通期の業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル=105円、1ユーロ=120円を想定しています。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,374,948	3,817,438
受取手形及び売掛金	4,267,823	3,997,652
電子記録債権	851,990	796,909
商品及び製品	1,765,480	2,003,928
仕掛品	992,270	1,055,610
原材料及び貯蔵品	1,870,355	1,838,146
その他	648,856	351,991
貸倒引当金	△12,130	△11,379
流動資産合計	14,759,594	13,850,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,049,773	4,385,218
機械装置及び運搬具(純額)	4,746,197	4,870,644
その他(純額)	3,137,667	3,642,270
有形固定資産合計	11,933,638	12,898,132
無形固定資産	879,947	836,655
投資その他の資産	998,142	871,924
固定資産合計	13,811,728	14,606,712
資産合計	28,571,322	28,457,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,177,654	2,034,602
未払法人税等	314,678	165,175
賞与引当金	404,375	393,157
その他	1,467,898	1,749,004
流動負債合計	4,364,606	4,341,940
固定負債		
退職給付に係る負債	328,572	284,903
その他	335,258	395,854
固定負債合計	663,830	680,757
負債合計	5,028,437	5,022,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	18,865,985	18,959,359
自己株式	△208,743	△208,743
株主資本合計	22,967,632	23,061,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	335,224	278,984
為替換算調整勘定	306,251	130,937
退職給付に係る調整累計額	△66,222	△36,616
その他の包括利益累計額合計	575,253	373,305
純資産合計	23,542,885	23,434,311
負債純資産合計	28,571,322	28,457,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,126,361	9,584,184
売上原価	6,611,609	6,409,395
売上総利益	3,514,751	3,174,788
販売費及び一般管理費	2,376,109	2,443,781
営業利益	1,138,642	731,006
営業外収益		
受取利息	4,975	7,434
受取配当金	11,542	16,500
為替差益	64,713	—
その他	13,978	15,088
営業外収益合計	95,209	39,023
営業外費用		
支払利息	—	683
売上割引	24,271	22,346
為替差損	—	125,531
デリバティブ評価損	6,127	2,135
その他	1,892	317
営業外費用合計	32,291	151,013
経常利益	1,201,560	619,016
特別利益		
固定資産売却益	2,811	373
投資有価証券売却益	—	1,218
特別利益合計	2,811	1,591
特別損失		
固定資産売却損	2,125	3,351
固定資産除却損	3,427	15,718
特別損失合計	5,552	19,070
税金等調整前四半期純利益	1,198,819	601,538
法人税等	349,574	185,029
四半期純利益	849,244	416,509
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	849,244	416,509

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	849,244	416,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,435	△56,240
為替換算調整勘定	△363,158	△175,313
退職給付に係る調整額	3,575	29,606
その他の包括利益合計	△321,147	△201,947
四半期包括利益	528,097	214,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	528,097	214,561
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,198,819	601,538
減価償却費	722,124	797,868
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34,015	△10,087
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,729	△563
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,069	△480
受取利息及び受取配当金	△16,517	△23,935
支払利息	—	683
為替差損益 (△は益)	△97,125	109,510
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,218
固定資産売却損益 (△は益)	△686	2,977
売上債権の増減額 (△は増加)	4,988	229,740
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△417,608	△332,478
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,665	△145,656
未払又は未収消費税等の増減額	△30,073	142,718
その他	495,006	374,474
小計	1,887,937	1,745,091
利息及び配当金の受取額	16,517	23,935
利息の支払額	—	△683
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△426,972	△490,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,477,482	1,277,907
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△3,080
定期預金の払戻による収入	—	6,160
有形固定資産の取得による支出	△647,693	△1,422,443
有形固定資産の売却による収入	9,188	607
有形固定資産の除却による支出	△594	△10,615
無形固定資産の取得による支出	△450,576	△5,615
投資有価証券の取得による支出	△6,394	△5,954
投資有価証券の売却による収入	—	1,458
貸付けによる支出	△3,159	△5,648
貸付金の回収による収入	100	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,099,129	△1,445,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△607	△21,579
配当金の支払額	△208,504	△305,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,111	△327,386
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45,689	△79,806
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	123,551	△574,316
現金及び現金同等物の期首残高	4,892,014	4,368,508
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	20,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,015,565	3,814,358

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことによりカネフサベトナムCO., LTD. を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	6,005,677	1,096,639	818,222	1,210,744	585,447	9,716,732
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,214,664	359,551	747	—	573,705	3,148,668
計	8,220,342	1,456,191	818,970	1,210,744	1,159,152	12,865,401
セグメント利益	666,804	135,170	53,713	124,757	83,180	1,063,626

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	409,628	10,126,361	—	10,126,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	3,148,758	△3,148,758	—
計	409,718	13,275,120	△3,148,758	10,126,361
セグメント利益	39,270	1,102,896	35,746	1,138,642

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル、メキシコ及びベトナムの現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額35,746千円には、セグメント間取引消去41,459千円、棚卸資産の調整額△1,753千円、その他△3,959千円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,999,884	1,018,230	700,308	975,834	466,945	9,161,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,058,476	383,526	—	10	483,918	2,925,932
計	8,058,361	1,401,756	700,308	975,845	950,863	12,087,135
セグメント利益	532,097	112,048	39,222	43,145	44,126	770,639

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	422,981	9,584,184	—	9,584,184
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	2,926,022	△2,926,022	—
計	423,071	12,510,206	△2,926,022	9,584,184
セグメント利益	△6,471	764,168	△33,161	731,006

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル、メキシコ及びベトナムの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△33,161千円には、セグメント間取引消去24,369千円、棚卸資産の調整額△57,170千円、その他△360千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

① 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比 (%)	2020年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
平 刃 類	3,077	30.4	2,954	30.8	△4.0	5,740	30.0
精 密 刃 具 類	2,111	20.9	2,028	21.2	△3.9	4,155	21.7
丸 鋸 類	4,803	47.4	4,477	46.7	△6.8	9,020	47.0
商 品	133	1.3	123	1.3	△8.0	245	1.3
合 計	10,126	100.0	9,584	100.0	△5.4	19,160	100.0

② 国内・海外別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比 (%)	2020年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
国 内	5,270	52.1	5,284	55.1	0.3	10,710	55.9
海 外	4,855	47.9	4,299	44.9	△11.4	8,450	44.1
ア ジ ア	2,329	23.0	2,122	22.2	△8.9	4,110	21.5
ア メ リ カ	1,149	11.4	1,016	10.6	△11.6	2,013	10.5
ヨ ー ロ ッ パ	1,299	12.8	1,085	11.3	△16.5	2,192	11.4
そ の 他	77	0.7	75	0.8	△2.5	135	0.7
合 計	10,126	100.0	9,584	100.0	△5.4	19,160	100.0